



ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会 〒251-0026 藤沢市鵠沼東3-2 秩父宮記念体育館内

URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>

藤沢市スポーツシンポジウム2025

「ゆめ〜プロスポーツ選手になるために学ぶ」

2025年度のスポーツシンポジウムは、これまでの講演・パネルディスカッション形式を変えて、「プロスポーツ選手のトークショー」、「バスケットボール教室」、「質問コーナー」などのプログラムを用意し、バスケットボールを目指す子どもたちの夢に応えることを主眼として、藤沢市と藤沢市スポーツ連盟の主催により、9月20日(土)に秋葉台体育館で開催した。

フリーアナウンサーの宮川浩子さんの司会により、全体スケジュールの紹介の後、主催者を代表して、鈴木市長から「スポーツの楽しさを味わってほしい。」と挨拶された。

最初のトークショーでは、湘南ユナイテッドBCの内田選手、重富選手、岡戸アシスタントコーチの3名が出席し、宮川さんから、バスケットを始めたきっかけやプロになるために努力したことなどの質問があり、各自が自らの経験を話した。

1 トークショー

■内田選手

・小学校1年から兄の影響で始めた。バスケットの楽しい点は、シュートが入った時である。プロを目指そうと思ったのは、私立の中学に進学し、中1の時に全国大会に出場してからである。

・湘南BCのチームは、選手は若くエネルギーがある。チームは地域密着型で、一体感がある。キャプテンとして頑張りたい。

・プロとしては、一定以上の練習が必要で、強いチームになるには、厳しい環境に身を置くことも大切である。

■重富選手

・小学校1年から始めて、小・中・高と福岡でバスケットを続けた。

・バスケットをやって良かったことは、試合に



トークショー

出て活躍できたことである。湘南ユナイテッドはチームの雰囲気も良く、成長した湘南ユナイテッドを皆さんに、お見せしたい。

■岡戸アシスタントコーチ

・バスケットの選手としては、小学校1年から大学2年まで続け、怪我で教員を目指すこととしました。

・プロのコーチとしては、気づき、コミュニケーションが大切で、選手との会話を増やしている。湘南のチームは、若い人が多いが、ベテランともうまく兼ね合っている。

・バスケットを目指す子どもたちへは、自分のやりたいこと、なりたいたいことを発信することが大切であることを伝えたい。

2 バスケットボール教室

次に、内田選手、重富選手、岡戸アシスタントコーチが、コーチ役となり、参加した51名の小学生が初心者コース、小学生の経験者コース、中学生の経験者コースの3班に分かれ、教室が開かれた。



バスケットボール教室

初心者コースでは、ドリブル、パス、バウンドパスなど基礎的な技術を学び、ドリブルリレーやシュート練習を行った。小学生経験者コースでは、片手ドリブル、両手ドリブルを対面で行うなど、基礎と応用の技術を学んだ。

3 質問コーナー

最後の質問コーナーでは、参加した小中学生から、3名の選手・コーチに、食生活や技術的なことについての質問があった。(回答者氏名略)

Q好きな食べ物は?

- A1 甘いもの。
- A2 さかな類。

Qフリースローの時は?

- A1 ボールを回して。
- A2 静止が大切。

Q子どもの頃の好きな選手は?

- A1 マイケル・ジョーダン
- A2 アイバーソン
- A3 富樫勇一

Q朝ごはんは何を?

- A1 バンか納豆ご飯
- A2 プロテイン
- A3 コンビニのコーヒー・おにぎり

Qシュートの時の大事な点は?

- A1 リリースポイントを少し遅くする
- A2 シュートのイメージを体で覚える
- A3 動きからのシュート

Q見てほしいプレーは?

- A1 スリーポイントシュート
- A2 アシスト
- A3 声を出してのプレー



バスケットボール教室



参加者全員で

中学生経験者コースでは、バス・ドリブル・シュート、パス・ラン・シュートの連係プレーを中心に練習を行った。

スポーツまつりふじさわ2025



11月9日(日)、雨模様の天気ではあったが、市制施行85周年記念「スポーツまつりふじさわ2025」が、秋葉台公園で開催された。午前中の雨のため、球技場で予定されていた“キックターゲット”、“グラウンドゴルフ体験”、“ラクロス体験”などは中止されたが、“ポッチャ”、“スポーツクライミング”などの体育館内での種目は、家族連れの参加者が多く、賑わった。

室内種目を5種目以上参加すれば、景品がもらえるため、大勢の子どもたちが、各種目に挑戦していた。大人と子どもと一緒にプレーする“卓球バレー”では、成功するたびに歓声と拍手が大きかった。バスケットボールでは、小学生以下の小さい子が何人も、大きな網のゴールにボールを入れていた。

体育館入口から入って左手の壁に造られているクライミング用の壁では、多くの小学生が安全綱を装着して、クライミングに挑戦していた。この中から、濱田選手のように、全国大会で活躍する選手が誕生するかもしれません。

クライミングの向かいのコーナーでは、スラックラインというバランス感覚が求められる競技を、サポートの方々の応援も得ながら親子連れが楽しんでいた。

階段を上がって2階には、メディカルチェックコーナーがあり、健康に関心がありそうな方々が参加していた。



クライミング



スラックライン



シャッフルボード



ラダーゲッター

昼休みの特別コーナー「湘南ドルフィンズ生演奏」

湘南ドルフィンズは、前身は40年余りに発足した本町小学校トランペット鼓隊だが、1994年に「地域・学校・家庭」が連携する地域のクラブに生まれ変わり、本町地区を中心にいろいろな地域の小学生で構成されているマーチングバンドである。

その活動は広く知られており、市民まつりなど地域の行事への参加の他、スポーツマーチングバンドの全国大会等での活躍は知られている。

昼休みの30分、子どもたちのリズム感あふれ、息のあった演奏とダンスは大勢の観客を魅了した。ディズニーや湘南サウンドのメドレー演奏には大きな歓声が響いた。

家族で一喜一憂

午後からは雨も上がり、人出が増え、参加者が多くなり、盛況な一日であった。

館内のあちこちのブースから、笑い声、拍手や歓声、時には「惜しい!」という声が聞こえた。簡単なスポーツに見えても、思った以上に難しい種目もあり、リベンジやリピーターと言って、再度挑戦されたご家族もいました。あの場を、家族で一喜一憂して、楽しく過ごせていたようです。

ラダーゲッターは、皆さん、難しいとか、子どもは「ムズイ!」と言って、一生懸命狙いを定めていた姿が印象的でした。

来場者数は子ども405名、大人373名でした。皆さん楽しい思い出ができたと思います。

(白川)



卓球バレー

湘南ドルフィンズ



27年
ぶり!

自主的に始まった女子稽古会と 藤沢市民総体剣道競技の部における 女子剣道形演武



2月に開催された武相地区剣道大会

意であるということです。「日を決めて強制的に稽古を行う」のではなく、各部の稽古会に毎月1回輪番制で「出げいこに行く」という形を取っています。由度が高いため、武相大会参加メンバーのみならず、たくさんの参加者が軽に参加できるようにしたことで、日ごろ、なかなか交流できない女子剣士士の交流の場となっています。次期武相大会における優勝を目標に、楽しく気軽に技量向上を目指していきたいと考えています。

令和7年8月28日に開催された藤沢市民総体剣道競技の部において、27年ぶりに女性による剣道形演武が行われました。毎年8月に行われる藤沢市民大会(通称)では、剣道六段の指導者が剣道形の演武を行うのが通例になっています。今年度は、錬士六段・大塚桜子先生、六段・吉野純子先生が主役として27年ぶりに演武を行いました。「合気、一体感を表現できるよう自練を含めかなりの回数の稽古を積みました」と大塚・吉野両先生。

「大役だったが、技量のみならず、精神的にも良い経験になった。経験を今後の生活に活かせるよう精進したい」(吉野先生)。「六段審査よりも楽しかった。無事に終えてほっとしています」(大塚先生)。

女性ならではの力強さとしなやかさが一体となった美しい演武に魅了された観客からは、終了後大きな拍手が送られました。(清)

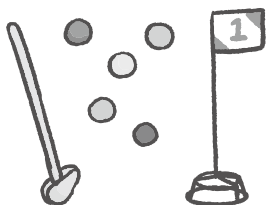


関東地区グラウンド・ゴルフ 茨城大会出場



藤沢市協会参加者集合写真

関東地区茨城大会が9月29日・30日の日程で茨城県那珂市・笠松運動公園にて関東地区1都、7県の参加者1052名が集まり開催されました。神奈川県代表77名の内、藤沢市協会は10名が出場。
大会は1日目交歓大会2ゲーム、2日目は交流大会2ゲームを3コースに分かれ競い合いました。グラウンド・ゴルフの精神は勝敗ではなく、楽しむことが大事、楽しんだ結果勝敗がついてくる。このグラウンド・ゴルフの精神で、大会を大いに楽しみました。
結果は残念ながら入賞者はありませんでしたが、他県のグラウンド・ゴルフ愛好家との交流ができて楽しい2日間となりました。(松永)



スポーツクライミング競技



Congratulations!



表彰 左から仲田選手・濱田選手・高梨監督

滋賀県で10月に行われた国民スポーツ大会スポーツクライミング競技で、2連覇を果たされおめでとうございます。濱田選手と仲田選手のペアが少年男子の団体に優勝され、濱田選手は昨年に続き2連覇となりました。お二人にお話を伺いました。(敬称略)

質問1 スポーツクライミング競技とはどのような競技でしょうか。スポーツまつりの秋葉台体育館で、クライミングの壁があります。そのようなイメージでしょうか。

濱田 スポーツクライミングは、ボルダリング、スピードと3種目あり基本個人戦ですが、今回の国民スポーツ大会の競技はボルダリングとスピードの2種目を、2人1組で戦うチーム戦となります。

秋葉台体育館の壁は登る高さを競うリード種目です。

仲田 クライミングは他のスポーツと違い、道具を使うわけでもなく身体だけを使っていく競技です。課題をクリアしたときの達成感がすごいです。

クライミングといっても3つの競技があって、速さを競うスピード、クリア数を競うボルダリング、高さを競うリードがあります。

秋葉台の壁はその中でもリードができます。リードクライミングは本格的になると秋葉台の壁よりも高く、大きいホールドもたくさんあって迫力があります。

質問2 この競技を始めたきっかけはどんなことでしょうか。

濱田 もともとSASUKEが好きで、小さい頃体を動かすことが好きだったんです。けど、たまたま秋葉台体育館でクライミングイベントをやっていたので親に連れて行ってもらい、そこで体験したのをきっかけにクライミングを始めました。

仲田 父親がやっていて、遊びでついて行ったのがきっかけです。

質問3 団体での競技で目標にしていたことはどのようなことですか。
その結果、ペアで優勝した時のお気持ちはいかがでしょうか。

濱田 もちろん両種目優勝を目指していたし、それを達成できて嬉しかったのと、それを2人で喜び合えたのがチーム戦ならではの、楽しかったです。

仲田 ペアが年上ですが、強い選手なので、目標というより、迷惑だけはかけたくないという気持ちが強かったです。結果、優勝して、嬉しいという気持ちよりも安心した気持ちのほうが大きいです。

質問4 これからの新たな目標はどのようなことでしょうか。

濱田 今年からシアアの大会に出場できる年齢になるので、ユースではなくそっちにシフトして、日本代表を目指してトレーニングを頑張っていきたいです。

仲田 次の目標は来年度の日本ユース代表になって、世界ユースで一位をとることです。将来、オリンピックで優勝して、テレビとかにもでて、サッカーとかのようにクライミングを有名で身近なスポーツにしたいです。学校の友達とかと気軽に楽しめるようになったら良いなと思っています。

質問5 スポーツクライミング競技を広く知ってもらうために、何か考えていらっしゃることありますか。

濱田 僕が結果を残すことを目指すのはもちろん、藤沢市もスポーツクライミングに力を入れて下さっているんで、それをきっかけにクライミングを始める子どもが増えたらいいなと思っています。

仲田 オリンピックで優勝することが一番の近道だと思っています。

お二人のクライミングに対する率直で素晴らしいお話をいただきありがとうございます。これからの一層の活躍を期待しております。



新年の行事のご案内

【第36回加盟団体会長会】

期日…2026年1月10日(土)
開会…18時30分〜20時
会場…藤沢商工会館ミナパーク

【第41回スポーツ人の集い】

期日…2026年2月23日(祝・月)
開会…1部 14時〜15時
講演会 15時〜16時
講師…加藤貴昭氏
(慶應義塾大学 環境情報学部教授)

式典・表彰
15時15分〜16時15分

会場…藤沢市民会館小ホール

【体育協会80周年のご案内】

期日…2026年6月13日(土)
開会…I部 17時30分〜18時 式典
II部 18時15分〜19時45分
祝賀会

会場…商工会館ミナパーク

【体育協会80周年記念誌へのご寄稿のお願い】

記念誌のテーマ
「これまでの10年とこれからの10年」
・記念誌サイズ A4判 24頁程度
・ご寄稿依頼事項 文章400〜450字
・写真 1〜3枚
締切 2025年12月20日

編集後記

今回は、子どもたちにバスケットの楽しさを伝えたスポーツシンポジウムと雨模様のお天気にもかかわらず、親子連れの皆さんが大勢参加され多彩なスポーツを楽しまれたスポーツまつりを中心に紹介しました。また、各協会のトピックを上げさせていただきます。

遅い秋に入り、スポーツクライミング、少年野球、サッカーなど様々なスポーツで、藤沢の若い世代の活躍が目を引きました。

(杉刈)